

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第42週（10月15日～10月21日）

## ★ お知らせ

### ○ 感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.63から2.33と増加しました。今冬シーズン初めて安芸保健所管内の高齢者施設でノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染が発生しました。例年冬季に流行していますので注意してください。ノロウイルスは手指や食品を介して経口感染しヒトの腸の中で増殖して、嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状を引き起こします。ほとんどの方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡する事があります。発症後3週間程度はウイルスが便中に排出されるため、2次感染に注意が必要です。感染を拡げないために大切な事は、手洗いです。排便後、調理や食事の前には十分に手を洗いましょう。

### ○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.50から0.73に増加しました。潜伏期は2～5日で突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要で、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行しましょう。

## ★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数（人）	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color:magenta">↗</span>	2.33	中央西、中央東、安芸、幡多、高知市で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症	<span style="color:magenta">↗</span>	0.87	高知市、中央東で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘	<span style="color:yellow">→</span>	0.83	幡多、高知市で増加し、幡多では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color:magenta">↗</span>	0.73	須崎、高知市、安芸、幡多で増加した。
マイコプラズマ肺炎	<span style="color:red">↑</span>	0.63	高知市で2人から5人に増加し、注意報値を超えている。

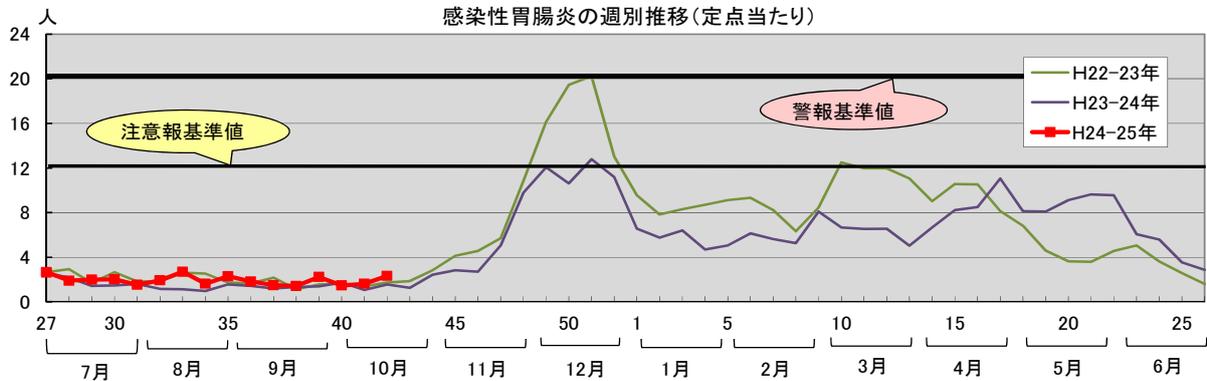
## ★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

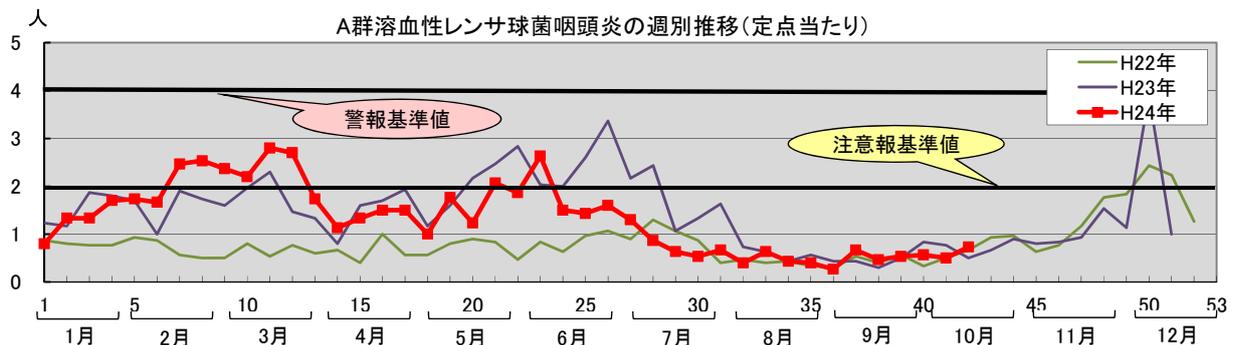
○ **感染性胃腸炎：2.33**（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり2.33（前週：1.63）と増加した。中央東（3.43）中央西（3.33）高知市（2.73）安芸（1.50）幡多（0.60）で増加した。病原体定点からNorovirus GII NTが検出されており、これから報告数の増加が考えられるので注意してください。予防方法は、手洗いと患者との濃厚な接触を避けることです。



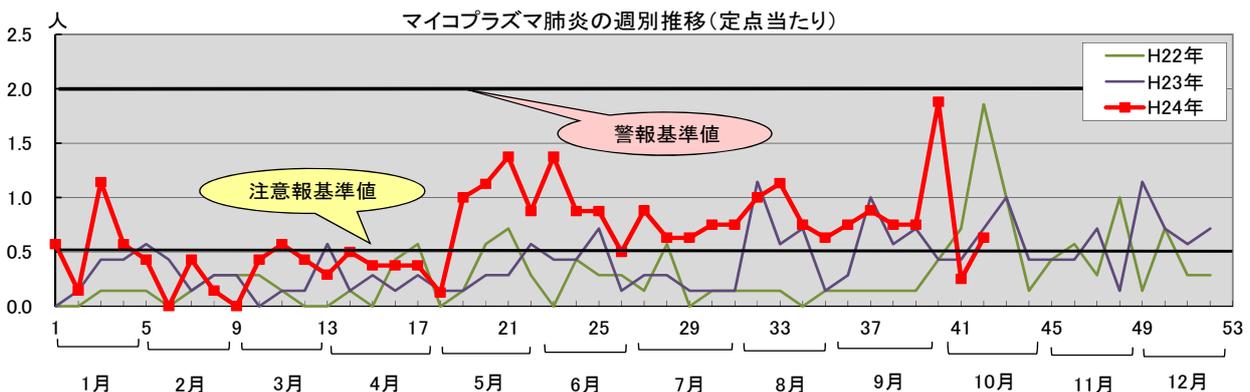
○ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：0.73**（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり0.73（前週：0.50）と増加した。須崎（3.00）安芸（1.00）高知市（0.73）幡多（0.40）で増加し、須崎では注意報値を超している。冬季に流行するので今後注意してください。予防方法は患者との濃厚な接触は避け、うがい、手洗いを徹底しましょう。



○ **マイコプラズマ肺炎：0.63**（注意報値：0.5 警報値：2.0）

定点医療機関からの報告では定点当たり0.63（前週：0.25）と増加し、注意報値を超している。高知市（1.00）で増加し、注意報値を超している。病原体定点からは肺炎マイコプラズマ（Mycoplasma pneumoniae）が7例検出されており、報告定点以外の医療機関からも患者情報が報告されている。予防方法は、手洗い、うがいなどの一般的な方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けるように気を付けましょう。



★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	患者市町村	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
42	不明発疹症	1	女	中土佐町	須崎	Human herpes virus 6
42	原因不明アナフィラキシーショック	12	男	土佐市	中央西	Human herpes virus 7
42	伝染性紅斑	8	女	須崎市	須崎	Human herpes virus 7
42	不明発疹症	3	男	中土佐町	須崎	Human herpes virus 7
42	不明発疹症	4	男	四万十町	須崎	Human herpes virus 7
42	感染性胃腸炎	75	男	南国市	中央東	Norovirus GII NT
42	マイコプラズマ	7	男	高知市	高知市	Mycoplasma pneumoniae
42	マイコプラズマ肺炎	5	女	高知市	高知市	Mycoplasma pneumoniae
42	マイコプラズマ肺炎	2	男	高知市	高知市	Mycoplasma pneumoniae
42	百日咳	8ヶ月	男	兵庫県	安芸	Mycoplasma pneumoniae
42	マイコプラズマ	4	男	南国市	中央東	Mycoplasma pneumoniae
42	マイコプラズマ	5	男	南国市	中央東	Mycoplasma pneumoniae
42	マイコプラズマ肺炎	11	女	梶原町	須崎	Mycoplasma pneumoniae

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	患者市町村	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
37	リンゴ病疑い	9	女	南国市	中央東	Human herpes virus 7
39	血球減少	9	女	土佐市	中央西	Human herpes virus 7
41	感染性胃腸炎 気管支炎	9ヶ月	女	南国市	中央東	Rhinovirus

\* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
3類	腸管出血性大腸菌感染症	2	6	10歳代(女)	高知市
				50歳代(女)	

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ感染症 2例(4、5歳) アデノウイルス感染症 1例(11ヶ月)
	早明浦病院小児科	サルモネラ感染性胃腸炎 1例(6歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2例(8歳女、10歳男) サルモネラ O-9 腸炎 1例(6歳女)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例(6歳女) 帯状疱疹 1例(3歳女)
中央西	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 1例(10歳女) マイコプラズマ感染症 1例(16歳男)
須 崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 4例(1歳2例、4、7歳) マイコプラズマ肺炎 1例(11歳女)
幡 多	さたけ小児科	マイコプラズマ感染症 1例(1歳男)

## ★ 全国情報

### 第40週 (10/1～10/7)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核329例

3類感染症：細菌性赤痢6例、腸管出血性大腸菌感染症102例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎1例、チクングニア熱1例、つつが虫病2例、デング熱10例、日本紅斑熱9例、マラリア1例、レジオネラ症17例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例  
後天性免疫不全症候群16例、梅毒14例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、  
風しん42例、麻しん5例

報告遅れ：E型肝炎1例、レプトスピラ症1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、髄膜炎菌性髄膜炎1例、  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、急性脳炎7例、デング熱1例

### ◆RSウイルス感染症

RSウイルス感染症 (respiratory syncytial virus infection) は、病原体であるRSウイルスが伝播することによって発生する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返し、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされている。乳幼児期においては非常に重要な疾患であり、特に生後数週間～数カ月間の時期においては母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす。潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされている。発熱、鼻汁などの上気道炎症状が数日間続き、その後下気道症状が出現してくる。咳嗽、鼻汁などの上気道症状が2～3日続いた後、感染が下気道、とくに細気管支に及んだ場合には特徴的な病型である細気管支炎となる。細気管支炎例では、炎症性浮腫と分泌物、脱落上皮により細気管支が狭くなるに従って、呼吸性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などを呈するようになる。喀痰の貯留により無気肺を起こすことも珍しくない。心肺に基礎疾患を有する児においては、しばしば遷延化、重症化する。発熱は初期症状として普通に見られるが、呼吸状態の悪化により入院が必要となった際には体温は38℃以下になるか、あるいは平熱となっている場合が多い。RSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎の原因の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、臨床上、公衆衛生上のインパクトは大きい。重篤な合併症として注意すべきものには無呼吸、ADH 分泌異常症候群、急性脳症等がある。RSウイルスの主な感染経路は飛沫感染と接触感染であるが、感染力が強く、また生涯にわたって何度も顕性感染を繰り返すといわれている。年長者の再感染例等では典型的な症状を呈さずにRSウイルス感染と気付かれない軽症例も多数存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難である場合が多い。

RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正 (2003年11月5日施行) により対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出 (中和反応または補体結合反応) による病原検査が必須とされている。臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、医療保険適用として入院例のみが対象であったが、2011年10月より従来の入院例に加えて乳児およびパリーブズマブ製剤※1 の適応となる患者※2 に対しても適用されることとなり、現在は外来診療の場においても活用されていることと推察される。RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬期にピークが見られ、夏期は報告数が少ない状態が継続していたが、2011年、2012年と2年連続して7月頃から増加傾向がみられている。2012年の報告数は第28週以降は第38週の他は全て前週よりも増加がみられており、特に第35週以降は急激な増加が認められる週が多い。2012年第40週の報告数は5,007例となり、2003年第45週にRSウイルス感染症の発生動向調査が開始されて以降の1週間の報告数としてはこれまでの最多報告数

(2010年第4週：4,745例) を更新した。都道府県別の報告数をみると、東京都 (548)、福岡県 (476)、大阪府 (362)、埼玉県 (220)、山口県 (162)、群馬県 (155)、愛知県 (155)、宮崎県 (148) の順となっている。29の道府県で前週の報告数よりも増加がみられている。2012年第1～40週の累積報告数 (53,761) の年齢群別割合をみると、0歳41.4% (0～5カ月17.6%、6～11カ月23.8%)、1歳34.4%、2歳13.3%、3歳6.3%、4歳2.6%の順であり、0歳の報告割合が最多を占め、次いで1歳、2歳と年齢順であり、1歳以下で全報告数の約70%以上を、3歳以下で全報告数の90%以上を占めているのは、2004年以降変わりはない。一方、今夏の報告数の増加が始まった第28週以降の13週間では、累積報告数27,378例中0歳からの報告割合が36.0% (0～5カ月

13.9%、6～11カ月22.1%)、1歳からの報告割合が38.2%、2歳15.0%であり、1歳の報告が最多を占めている。

感染症発生動向調査からは、RSウイルス感染症の流行の立ち上がりが近年早まってきているものと推察される。東京都、福岡県、宮崎県等の既に報告数がかかなり多かったところでは減少がみられているところもあるが、まだ報告数が増加してきている地域が多く、同疾患の報告数の推移については注意が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第42週 平成24年10月15日(月)～平成24年10月21日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(41週)	高知県(42週末累計)		全国(41週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/10/21	H24/1/2～H24/10/14		
インフルエンザ	インフルエンザ							( )	2 ( 0.04)	292 ( 0.06)	16,410 ( 341.88)	1,635,507 ( 333.17)		
小児科	咽頭結核熱			1				1 ( 0.03)	( )	464 ( 0.15)	152 ( 5.07)	42,083 ( 13.40)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	3	8	1	6	2	22 ( 0.73)	15 ( 0.50)	2,736 ( 0.87)	1,764 ( 58.80)	220,260 ( 70.15)		
	感染性胃腸炎	3	24	30	10		3	70 ( 2.33)	49 ( 1.63)	9,349 ( 2.97)	6,611 ( 220.37)	813,083 ( 258.94)		
	水痘	3		8			14	25 ( 0.83)	24 ( 0.80)	1,675 ( 0.53)	1,916 ( 63.87)	146,332 ( 46.60)		
	手足口病			1				1 ( 0.03)	( )	2,182 ( 0.69)	116 ( 3.87)	55,872 ( 17.79)		
	伝染性紅斑			1		1	1	3 ( 0.10)	( )	133 ( 0.04)	824 ( 27.47)	19,380 ( 6.17)		
	突発性発疹			6	2		2	10 ( 0.33)	9 ( 0.30)	1,701 ( 0.54)	572 ( 19.07)	73,740 ( 23.48)		
	百日咳				1			1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	57 ( 0.02)	315 ( 10.50)	3,372 ( 1.07)		
	ヘルパンギーナ	1		2				3 ( 0.10)	5 ( 0.17)	707 ( 0.22)	803 ( 26.77)	111,930 ( 35.65)		
	流行性耳下腺炎			1	1	1	1	4 ( 0.13)	9 ( 0.30)	1,032 ( 0.33)	641 ( 21.37)	59,527 ( 18.96)		
RSウイルス感染症		3	20			2	1	26 ( 0.87)	21 ( 0.70)	3,647 ( 1.16)	803 ( 26.77)	57,467 ( 18.30)		
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	4 ( 0.01)	1 ( 0.33)	396 ( 0.58)		
	流行性角結膜炎			1				1 ( 0.33)	( )	367 ( 0.54)	38 ( 12.67)	15,504 ( 22.80)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	8 ( 0.02)	8 ( 1.14)	382 ( 0.82)		
	無菌性髄膜炎							( )	( )	10 ( 0.02)	21 ( 3.00)	750 ( 1.61)		
	マイコプラズマ肺炎			5				5 ( 0.63)	2 ( 0.25)	506 ( 1.08)	181 ( 25.86)	17,343 ( 37.14)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 ( 0.13)	( )	22 ( 0.05)	13 ( 1.86)	662 ( 1.42)		
計(小児科定点当たり人数)	9 ( 4.50)	30 ( 4.29)	85 ( 7.10)	15 ( 4.99)	10 ( 5.00)	24 ( 4.80)	173 ( 5.51)		24,892	31,189 ( 825.81)	3,273,590			
前週(小児科定点当たり人数)	11 ( 5.50)	32 ( 4.51)	63 ( 5.54)	6 ( 2.00)	7 ( 3.25)	18 ( 3.60)		137 ( 4.47)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(41週)	高知県(42週末累計)		全国(41週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H24/1/2～H24/10/21	H24/1/2～H24/10/14		
インフルエンザ	インフルエンザ								0.04	0.06	341.88	333.17		
小児科	咽頭結核熱			0.09				0.03		0.15	5.07	13.40		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.43	0.73	0.33	3.00	0.40	0.73	0.50	0.87	58.80	70.15		
	感染性胃腸炎	1.50	3.43	2.73	3.33		0.60	2.33	1.63	2.97	220.37	258.94		
	水痘	1.50		0.73			2.80	0.83	0.80	0.53	63.87	46.60		
	手足口病			0.09				0.03		0.69	3.87	17.79		
	伝染性紅斑			0.09		0.50	0.20	0.10		0.04	27.47	6.17		
	突発性発疹			0.55	0.67		0.40	0.33	0.30	0.54	19.07	23.48		
	百日咳				0.33			0.03	0.03	0.02	10.50	1.07		
	ヘルパンギーナ	0.50		0.18				0.10	0.17	0.22	26.77	35.65		
	流行性耳下腺炎			0.09	0.33	0.50	0.20	0.13	0.30	0.33	21.37	18.96		
RSウイルス感染症		0.43	1.82			1.00	0.20	0.87	0.70	1.16	26.77	18.30		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01	0.33	0.58		
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.54	12.67	22.80		
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	1.14	0.82		
	無菌性髄膜炎									0.02	3.00	1.61		
	マイコプラズマ肺炎			1.00				0.63	0.25	1.08	25.86	37.14		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13		0.05	1.86	1.42		
計(小児科定点当たり人数)	4.50	4.29	7.10	4.99	5.00	4.80	5.51			825.81				
前週(小児科定点当たり人数)	5.50	4.51	5.54	2.00	3.25	3.60		4.47						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1(保健衛生総合庁舎2階)  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869